

Green Brave

#52 埼玉 GB GR Supra GT4

2024年9月7日(土)

BRIDGESTONE

Super Taikyu

Japanese Endurance Race

ENEOS

ENEOS スーパー耐久シリーズ 2024 Empowered by BRIDGESTONE

第4戦 もてぎスーパー耐久 5Hours Race モビリティリゾートもてぎ(栃木県茂木町)

■ ■ ■ ■ 性能調整に苦しむもベストを尽くし6位入賞 ■ ■ ■ ■

第4戦のレース距離は5時間。土曜日に予選と決勝を行う1日開催です。ドライバーはジェントルマンドライバーの山崎選手とGBドライバーの吉田、服部、野中の4選手。ここまで3戦2勝のGR Supraにはクラス最大、70kgのウェイトをはじめ、オーガナイザーが定めたさまざまな性能調整が施されており、スピードが抑えられています。

土曜日の天候は晴。予選はA、B両ドライバーの合算タイムで争われ、Aドライバー、山崎選手は今年の予選タイムを1秒上回る2分01秒742をマーク。4位で予選を終えました。Bドライバー、吉田広樹選手も同様に1秒上回る2分00秒833をマーク。6位につけ、両ドライバーの合算タイムにより、予選5位となりました。性能調整による影響は想像以上に大きく、ライバルに大きく水をあけられた格好。ただ、3台あるGR Supra勢の中では最上位につけており、Green Braveのチーム力はしっかり発揮されています。チームは表彰台を目指し、吉田選手をスタートドライバーとする4スティント作戦を立案。レースの展開を見ながら、服部、山崎、野中の順につなぎます。12時35分、5時間の決勝レースがスタート。スタートドライバー、吉田選手は4位をキープして1周目を終了。背後には#25Zがピタリとつけており、3周目に両車の順位が入れ替わります。吉田選手は5位をキープしながら走行。4位は#22ポルシェに入れ替わっており、しばらくの間、それを追う展開となります。順位は変わらないまま85分ほどが経過。上位のピットインにより、吉田選手はトップに浮上します。39周目の終わりに吉田選手がピットイン。服部選手に交代し、給油のみの作業でピットアウトします。コースに復帰した服部選手の順位は4位。タイヤ交換にかかる作業時間を短縮するために選んだ作戦ですが、服部選手のペースは伸び悩み、62周目に5位、63周目に6位までポジションダウン。このため、チームは当初の予定より早い、64周目の終わりに服部選手をピットに呼び戻します。山崎選手に交代し、給油とタイヤ交換を行いピットアウト。コースに復帰した山崎選手の順位は9位です。

2回目のピットインは全チーム中、2番目に早いタイミングで行ったため、ライバルがピットに入るたびに山崎選手の順位が上がっていきませんが、順位をキープできるスピードはなく、上位を争うチームに抜かれていきます。77周目に5位まで上がりますが、86周目には7位へ。必死にペースアップを試みる山崎選手ですが、性能調整の壁はいかんともしがたく、苦しい展開です。101周目の終わりに山崎選手がピットイン。残り約1時間20分を残して野中選手に交代し、野中選手は給油のみ、8位でレースに復帰します。ユーズドのタイヤとブレーキに不安を抱えながらもチェッカーを目指して力走。104周目に#26Zがピットに入ったため、7位に浮上しますが、その後#26Zに抜かれ、再び8位となります。終盤、ランキング2位の#885GR Supraとの争いになりますが、112周目に#885GR Supraが3回目のピットインを行い、野中選手が7位に浮上。最後まで集中力を切らさずに、ポジションキープでチェッカーを受けました。レース終了後、#26Zにペナルティが科されたため、正式結果は6位。昨年の開幕戦から続いていた10戦連続表彰台の記録は途絶えましたが、#885GR Supraとのポイント差は拡大し、2年連続チャンピオンに向けて、期待が高まる結果となりました。

2回目のピットインは全チーム中、2番目に早いタイミングで行ったため、ライバルがピットに入るたびに山崎選手の順位が上がっていきませんが、順位をキープできるスピードはなく、上位を争うチームに抜かれていきます。77周目に5位まで上がりますが、86周目には7位へ。必死にペースアップを試みる山崎選手ですが、性能調整の壁はいかんともしがたく、苦しい展開です。101周目の終わりに山崎選手がピットイン。残り約1時間20分を残して野中選手に交代し、野中選手は給油のみ、8位でレースに復帰します。ユーズドのタイヤとブレーキに不安を抱えながらもチェッカーを目指して力走。104周目に#26Zがピットに入ったため、7位に浮上しますが、その後#26Zに抜かれ、再び8位となります。終盤、ランキング2位の#885GR Supraとの争いになりますが、112周目に#885GR Supraが3回目のピットインを行い、野中選手が7位に浮上。最後まで集中力を切らさずに、ポジションキープでチェッカーを受けました。レース終了後、#26Zにペナルティが科されたため、正式結果は6位。昨年の開幕戦から続いていた10戦連続表彰台の記録は途絶えましたが、#885GR Supraとのポイント差は拡大し、2年連続チャンピオンに向けて、期待が高まる結果となりました。



決勝結果 (ST-Z クラス)

#52 埼玉 GB GR Supra GT4

(山崎 学/吉田広樹/服部尚貴/野中誠太)

決勝: 6位 (138周、5時間03分15秒371)

予選: 5位 (合算タイム: 4分02秒575)

DRIVERS VOICE

山崎 学選手

すごく悔しいレースになってしまいました。ポジションを考えている余裕はなかったですし、クルマの状況を把握し、自分なりになんとかしようと思ったのですが、正直、何にもできなかったです。ランキング 2 位のチームが下位に沈んだので、ポイント的なダメージは最小限だったのですが、この状況でこのレースになってしまったこと、性能調整がどうなるのか、そこが気になるところです。自分ではできることをやったつもりが、結果何もできなかったのがショックです。

吉田広樹選手

ある程度予想はできていたのですが、この結果はしょうがないと思います。自分たちの強いところは特になく、タイヤに対して優しい可能性があるかなぐらいで、速さ的なチャンスはまったくありませんでした。やれることはすべてミスなくやることができましたので、良かったと思います。今シーズンは 6 戦の有効ポイント制になっていて、おそらく今回の得点はなくなるから、逆に言えば残りのレースは落とせないということです。みんなで考えながら、しっかりレースをやっていければと思います。

服部尚貴選手

思っている順位でゴールできなかったのですが、性能調整の分で、まわりと差をつけられすぎている気がするのです。どうしようもなかったです。タイヤ無交換で出ていき、作業時間を短縮してなんとかと思ったのですが、それ以上にまわりが速すぎて、タイヤ交換 1 回、2 回ぐらいの差ではないほど、やられてしまいました。このシーズンは 6 戦の有効ポイント制ですが、今のところ十分リードしているので、この差をキープして、2 年連続のチャンピオンをとれるように頑張りたいと思います。

野中誠太選手

#885GR Supra の清水選手とは同世代で、彼の実力もわかっていたので、気の抜けない難しい状況だったのですが、落ち着いて走れば大丈夫という自信もあったので、最後まで安定した走りでのポジションを守り切ることができました。後ろ 3 台は同じ GR Supra で、一番重いうちが前にいたので、チームとしてはミスなく戦い抜くことができました。性能調整はドライバーの力ではどうにもできないので、自分たちとしては変わらず、いい状態で準備ができればと思います。

ST-Z クラス決勝結果

順位	チーム	周回数
1 位	raffinee 日産メカニックチャレンジ Z NISMO GT4 (日産 Z GT4)	139 周
2 位	TECHNO FIRST R8 LMS GT4 (アウディ R8 LMS GT4)	139 周
3 位	NANIWA DENSO TEAM IMPUL Z (日産 Z GT4)	139 周
4 位	Hitotsuyama Mercedes-AMG GT4 (メルセデス AMG GT4)	138 周
5 位	EBI GROUP Cayman GT4 RS CS (ポルシェ 718 ケイマン GT4 RS CS)	138 周
6 位	埼玉 GB GR Supra GT4 (トヨタ GR Supra)	138 周

出走 11 台 トップ 6 まで

ST-Z クラスポイントランキング

順位	車番	チーム	ポイント
1 位	52	埼玉 Green Brave	94
2 位	885	SHADE RACING	63.5
3 位	26	TEAM ZEROONE	49.5
4 位	19	Birth Racing Project【BRP】	46
5 位	21	Hitotsuyama Racing	45
6 位	22	Porsche Team EBI	44

上位 6 位まで

第 5 戦 9 月 28 日~29 日 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

Green Brave PARTNERS



赤城車体工業株式会社
akagi body industry Co.,Ltd.
http://akagibody.co.jp

赤城車体工業株式会社



株式会社アース・コーポレーション



株式会社アルシエ



株式会社 FM NACK5



株式会社
岡崎巧芸
株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼玉スリーボンド株式会社



株式会社三和広告社



JU 埼玉オートオークション株式会社



株式会社西武ライオンズ



ティーズ・ワークス



株式会社デンソーソリューション



東京麒麟ビレッジサービス株式会社



トヨタホーム東京株式会社



トヨタモビリティパーツ株式会社 埼玉支社



富士フイルムビジネスソリューションジャパン株式会社



有限会社 MY CARS



マックメカニクスツールズ株式会社



丸和工業株式会社



Mechanix Wear LLC



株式会社リビコー